

「熊本地震」義援金納入状況

(平成28年11月25日現在)

区分	義援金(円)	学校数	その他(件)	備考
北海道	527,952	15	1	※協会
青森	300,000		1	※協会
岩手	783,538	11	1	※協会事務局
宮城	2,595,820	14	1	※協会
秋田	200,000	5	1	※協会
山形	295,860		1	※協会
福島	793,988	13		
新潟	156,190	4		
茨城	1,142,976	14	1	※協会事務局
栃木	500,000			
群馬	1,236,268	12		
埼玉	2,009,191	16		
千葉	1,775,244	25		
神奈川	555,000	82		
東京	25,942,014	167		
富山	86,168	3		
石川	1,000,000		1	※協会
福井	250,000	5	1	※協会
山梨	533,826	3		
長野	318,728	6		
岐阜	500,000	13		
静岡	6,617,196	44		
愛知	5,610,266	38	1	※協会事務局
三重	420,107	2		
滋賀	571,557	11		
京都	3,963,700	39		
大阪	7,866,081	68		
兵庫	7,304,051	45		
奈良	403,395	7		
和歌山	352,050	10		
鳥取	100,000	8		
島根	261,595	5		
岡山	441,338	9	1	※協会事務局
広島	1,411,801	8		
山口	170,797	4		
徳島	30,000		1	※協会
香川	50,000		1	※協会
愛媛	300,000		1	※協会
高知	336,500	9		
福岡	1,690,505	16		
佐賀	0			
長崎	359,925	8		
熊本				
大分	896,370	11		
宮崎	926,615	7		
鹿児島	1,667,287	22		
沖縄	0			
46都道府県	83,253,899	779	14	
その他	510,000		2	※日私学保連、中高連事務局
合計	83,763,899	779	16	

①中高併設校は1校扱い ②その他は、協会、日私学保連外

熊本地震

被災生徒、被災校に見舞金

全国の私立中高からの義援金

今年四月に発生した「平成二十八年(二〇一六年)熊本地震」は熊本県を中心に甚大な被害をもたらした。震源地となった熊本県では、く損壊するなど大きな被害が

住宅の全壊が八千三百二十棟、半壊は三万一千四百七十五棟にも上り、また私立中学校、高等学校でも校舎が大きいものが居住不能に陥っていることが報道されたのを受けて、私

生じ、九州地区での被災校は本連合会では、多くの県民が居住不能に陥っていることが報道されたのを受けて、私

果、七百人を超える私立中学校から寄せられた義援金は十

学ボランティア基金の枠組みを使って義援金の募集を開始、今年六月の常任理事会では、熊本地震の取り扱い内規を決定した。その後、熊本県庁、熊本県私立中学高等学校協会の協力を得て、私立中学校に係る地震発生地域全般について調査を実施した結果、七百人を超える私立中学

高校生徒が居住不能の状況にあることが判明したことから、五年前の東日本大震災の前例に倣い、家屋が全半壊して居住不能・転居を余儀なくされた生徒を対象に一律十万円(「被災生徒支援金」を贈ることを七月の常任理事会で決定した。全国の私立中学高



日本私立中学高等学校連合会発行  
 東京都千代田区九段北四丁目一番二五号  
 (私学会館内) 郵便番号一〇二一〇〇七三  
 電話 〇三(三三六)二八二八・一六一五  
 購読料は一年で三千円(会費を含めて徴収)  
 www.chukoren.jp

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

今回の熊本地震で被災生徒支援金を贈られた私立中学高等学校の生徒の皆さんなどから感謝のメッセージが寄せられました。その全文を掲載します。

一月二十五日時点で八千三百万円を超えた。また、関係書類を揃えて申請した生徒七百六十四人に見舞金「被災生徒支援金」を贈呈し、罹災証明書申請中の若干名を残すだけとなった(詳細は2面に一覽表)。

一方、被災した私立中学高等学校に関しては、義援金と私学ボランティア基金を原資に、被害額に応じて算定した「災害見舞金」と、一律二十万円の「被災学校見舞金」(熊本県のみを贈呈することを決め、十一月二十五日までに熊本県十三校、福岡県一校の計十四校に贈呈した。なお、熊本県・大分県に申請中・申請予定校が五校あるため、私立中学高校における施設等の被害総額は百億円を上回る見通しだ。今回の熊本地震における被災生徒・被災学校への見舞金の総額は最終的には一億一千万円を超える見込み。本連合会では、引き続き、各学校の文化祭やボランティア活動等の際に募金活動と呼びかけている。

私学ボランティア基金「熊本地震」義援金取扱内規に基づく被災生徒支援金・被災学校見舞金  
および私学ボランティア基金運営規則に基づく学校施設関係災害見舞金 申請・支給状況

平成28年11月25日現在

	学校名	(義援金)被災生徒支援金(全壊・半壊による居住不能転居者等)第1次・第2次・第3次分@10万円				(義援金)被災学校見舞金@20万円(円)	(私学ボランティア基金)学校施設/災害見舞金	
		中学(人)	高校(人)	計(人)	支援金計(円)		被害額概算申請額(円)	災害見舞金(円)
熊本県	1 鎮西中学高等学校	9	49	58	5,800,000	200,000	1,105,825,000	2,500,000
	2 真和中学高等学校	12	33	45	4,500,000	200,000	2,583,954,000	2,500,000
	3 尚綱中学高等学校	8	62	70	7,000,000		申請予定	
	4 九州学院中学高等学校	2	30	32	3,200,000	200,000	399,773,880	2,500,000
	5 ルーテル学院中学高等学校	5	22	27	2,700,000	200,000	79,704,000	2,000,000
	6 熊本信愛女学院中学高等学校	0	11	11	1,100,000		申請中	
	7 開新高等学校	—	68	68	6,800,000	200,000	2,467,800,000	2,500,000
	8 熊本中央高等学校	—	46	46	4,600,000	200,000	30,668,566	700,000
	9 慶誠高等学校	—	48	48	4,800,000	200,000	27,389,200	500,000
	10 熊本国府高等学校	—	95	95	9,500,000		申請中	
	11 熊本学園大学附属中学高等学校	3	33	36	3,600,000	200,000	270,705,240	2,500,000
	12 熊本マリスト学園中学高等学校	6	23	29	2,900,000	200,000	229,305,600	2,500,000
	13 東海大学附属熊本星翔高等学校	—	118	118	11,800,000	200,000	68,006,728	1,500,000
	14 文徳中学高等学校	0	43	43	4,300,000	200,000	100,971,000	2,500,000
	15 八代白百合学園高等学校	—	8	8	800,000	—	—	—
	16 秀岳館高等学校	—	15	15	1,500,000	200,000	398,790,000	2,500,000
	17 玉名女子高等学校	—	2	2	200,000	200,000	9,374,400	300,000
	18 有明高等学校	—	1	1	100,000	—	—	—
	19 専修大学玉名高等学校	—	1	1	100,000	—	—	—
	20 城北高等学校	—	10	10	1,000,000	—	—	—
計		45	718	763	76,300,000	2,600,000	7,772,267,614	25,000,000
福岡県	1 誠修高等学校	—	1	1	100,000	—	—	—
	2 西日本短期大学附属高等学校	—	—	—	—	—	6,860,160	300,000
	計	—	1	1	100,000	—	6,860,160	300,000
大分県	1 大分中学高等学校	—	—	—	—	—	申請中	
	2 別府溝部学園高等学校	—	—	—	—	—	申請中	
合計		45	719	764	76,400,000	2,600,000	7,779,127,774	25,300,000

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

【鎮西高等学校 3年 男子】

4月の熊本大地震からもう半年が過ぎましたが、地震があった直後のことは昨日のこのように覚えていません。地震により自宅が半壊となり、引越しを余儀なくされました。避難生活をしながらの荷造りは大変でしたが、母や近所の方々を声を掛け合いながらすることで、精神的に少し楽になり笑顔になることもありました。この度は、日本私立中学高等学校連合会を通じて全国の私立中高の皆様より、見舞金をいただきました。ありがとうございました。家が傾き、ガラスは割れ、基礎から被害を受けたため、壊れてもおかしくない状況であり、その後、全壊の判定が出ました。もう今までの家は住めなくなりました。それから避難生活を、時が経ちました。これからどうなるのか不安でしたが、今は借家に住んでいます。学校が再開してから、改めて勉強できる大切さを実感することができました。私は以前よりも精神的に強くなることができまし

【鎮西高等学校 3年 女子】

少し肌寒い季節になりました。4月14日の熊本地震、あれからもう半年近く経ちました。この度は、熊本地震によ

た。  
熊本地震災援金への呼びかけに協力してくださいました皆様の御好意をいつまでも忘れずに心に留め、これからの大切な日々を邁進していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

【鎮西高等学校 3年 女子】

今回、全国の私立中学高等学校の生徒、教職員、保護者ならびに関係者の皆様から、たくさんの方々の義援金とお見舞いの言葉を送っていただき、ありがとうございます。

私も小さい時から住んでいた家が、全壊して住めなくなりました。家族は、皆怪我もなく元気でしたが、飼っていたハムスターや金魚や亀は地震でみんな死んだり、手放さなければならなくなり、私の家族と犬だけは別々に親戚の家に避難して、まだ、余震が

続々毎日不安に過ごしていました。それから住む家を探して、

やっと家が見つかり、前の家よりずっと遠くなりましたが、家族全員で過ごすことが出来るようになりました。そして、今は元気に学校に通っています。

【真和高等学校 2年 男子】

この度は「熊本地震による被災生徒支援金」を贈呈いただき、ありがとうございます。平穏な日々を奪い去った4月の熊本地震から、早半年が経ちました。慌ただしかった生活も落ち着き、以前と同じように学校へと通うこともできています。

前震が来たときは、まさに青天の霹靂といった様相でした。その時私はテーブルについて食事をとっていました。

希望の専門学校にも合格することが出来ました。これからも、「私学ボランティア基金」を通じて全国の生徒を応援していただきますようお願いいたします。本当にありがとうございました。

もう少し帰宅が早ければ、私は自分がいつもいる場所にいて、棚の下敷きになっていたかもしれない。そのことを考えると、今でも背筋が寒くなります。その後、家に残ることもはばかられ、結局その日は、近所の方と野外で朝食を待ちました。

【真和高等学校 2年 女子】

今回の震災では多くの方々が被害を受け、現在に至っても落ち着いた生活を送ることができていない方もいます。そうした中で全国からの支援は、震災で疲弊した精神を支えてくれる大切なものでした。

むろん私にとっても、それは同様のことです。改めて、この度の被災生徒支援金に対して心から感謝申し上げます。

この度は「熊本地震による被災生徒支援金」を贈呈いただき本当にありがとうございます。私は今回の熊本地震により、住んでいたマンションが

全壊と判定され、引っ越さざるを得なくなりました。私はこの事実を知ってから、「これからどうなるのだろう」と、勉強もままならず、不安な毎日を送っていました。

【真和高等学校 2年 女子】

この度は熊本地震で被災した私たちのために、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございます。

皆様のおたかいお気持ちをしっかりと受け止めて、これからは自分の夢に向かってしっかりと勉学に励んでいきたいと思えます。

地震直後、私の住む住居も

大きく壊れ、住む場所もなく、教科書や学習道具も取り出せないような状況にありました。

【尚綱中学校 1年 女子】

私は以前から、将来は精神や障害の研究に携わりたいと考えていました。その夢は地震によって壊れることはありませんでした。

残された高校生活の中で、まずは大学受験に向けて勉強を精一杯頑張りたいと考えています。このように勉強に向かおうという気持ちに早い段階で切り替えることができたのも、多くのご支援があったことでした。

皆様からの温かいお気持ちに恩返しできるよう、これからも精一杯精進していきます。本当にありがとうございます。

私は今回の地震を通して水の大切さについて学びました。

【尚綱高等学校 1年 女子】

私は阿蘇市一の宮町に住んでいます。地震の被害は近く、阿蘇神社に避難して近所の仲町界隈ではそれまで出た井戸水が止まってしまった所もありました。幼い頃から馴染みのあった場所が大きく変わってしまっても悲しかったです。地震後断水したため、阿蘇神社に避難して自衛隊のお世話になり水を使うことができましたが、数日はお風呂に入ることができず、飲み水ももらった水を大事にしながら少しずつ飲みました。

私たちは日常生活の中で、飲む水はもろろんのこと、トイレ、お風呂、洗濯などいろいろなこと水を使っています。今回の地震を経験してよくわかりました。これから先も水を大切にしながら生活していきたいと思えます。

私今度の地震を通して水の大切さについて学びました。

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

2度の大きな地震により、私の家は立ち入り禁止となり、また、それからすぐに始

まった避難生活に、今まで当たり前のように送っていた生活がどれほど幸せなことだったのかを思い知らされました。初めは配給も足りず、ま

ともな食事を取ることができませんでした。そんな中、周囲の人が限られた食料を分け

合、飲み物をお年寄りや子どもたちに譲る姿を見て、とても感動しました。これから先どうなってしまうのかとい

う不安や余震への恐怖もありましたが、私もできることをやろうと思い、避難所の掃除や食事作り、子どもの世話と

いったボランティア活動を始めました。誰かの為にと思っ

て始めたのですが、「ありがとう」「お疲れ様」といった言葉や笑顔で元気付けられて

いたのは私の方でした。この経験から、助け合うことの大切さ、支えてくれる人がいる

ありがたさを学びました。これからは、感謝の気持ちをお忘れず、熊本が早く復興するよ

う自分にできることをしていこうと思います。

【高綱高等学校 2年 女子】

私は、生まれてからずっと同じ家に住んでいて、引越す予定もなく、普通に暮らして

いました。4月14日も普段どおり学校で授業を受け、友

達と話したり弁当を食べたり、それまでと何一つ変わらない一日を過ごしました。し

かし、その日の夜、とても大きな地震が熊本を襲い、熊本

は大変な被害を受けました。私もテレビや机、家具、家

で失い、いとこの家や祖母の家を転々として、とても息苦

しい生活を送りました。そのような生活が数カ月続き、夏

休みに入った時、ようやく借りられるアパートが見つかり、今は母とそこに住んで

います。

初めて地元を離れ、中学の友達とは会えないですし、土

地勘がないので道も分かりません。まだまだ不便なことだらけで、前の生活に戻りたい

と思う時もあります。でも、変わってしまったことを受け止

め、先のことを考えていきたいです。全国の私立中高の皆様から支援をいただいたこ

とへの感謝を、一日一日を大切に生きていくことで表したいと思っています。

【高綱高等学校 3年 女子】

地震が熊本を襲ってから半年が経ちました。地震直後は、

電気、ガス、水道が使えなくなり、車中泊、テント生活が

1カ月続きました。当たり前

の日常が一瞬で奪われ、見慣れた風景も変わってしまい、不安でいっぱいでした。しか

し、ボランティアの方々や自衛隊の方の働きのおかげで、

少しずつ気持ちも落ち着きました。地震によつてたくさん

のものを失いましたが、今までの感じなかった人との絆や感

謝の気持ちを強く感じるものが出来るようになりました。

私は保育士を目指していま

すが、今回いただいた支援金は夢を叶えるために使わせて

いただきました。復興にはまだまだ時間が必要だと思えますが、前を向

いて頑張ります。ありがとうございます。

【高綱高等学校 3年 女子】

私は今回の熊本地震で家が全壊し、アパートに住むこと

になりました。六人家族で使っていたダイニングテー

ブルがなくなり、今は折りたたみテーブルを使って食事をし

ています。1人のスペースがとても狭く周りを意識しながら食

べるため、今までなかった不便さを感じています。他

にも地震前と比べて、不自由になったことはいくつもあり

ます。

しかし、今回の熊本地震で学んだこともたくさんあり

ます。地震後、外に避難した時、近所の人びとがみんな集まり、家

から使える食材を持ち寄り、食事を作っている姿に助け合

いの心を学びました。

これまでなかった経験を

し、戸惑ったことも多くありましたが、貴重な経験になりました。

【九州学院高等学校 2年 女子】

この度は、熊本地震に際しまして、義援金をいただき

ありがとうございます。今回の熊本地震は全く思い

も寄らないことで、大変驚きました。私の住んでいる地区

は、震源の益城町から遠いのですが、大変な被害を受け、

私が16年間住んでいた家も全壊してしまいました。この現実を受け入れるには、時間

がかかります。私達九州学院高校も同じように被害に遭い、

変わり果てた校舎を見ると、とても胸が痛みました。しかし、今、たくさんの方々から支援をいただ

き、少しずつ以前の生活を取り戻しています。いただ

いたお見舞金は、皆様の温かいご支援であることを忘れず

に、大切に使用させていただきます。心よりお礼申し上げます。本

当にありがとうございます。

【九州学院高等学校 3年 女子】

この度は、熊本地震で被災した私たちへのお見舞い、義援金をありがとうございます。

今回の地震では、これまでにない怖い経験をしま

した。2度の大きな揺れで、家に

戻ることも片付けをするこ

ともできずに避難をし、身体的にも精神的にもきつく辛い思いをしました。学校が再開しても、不安な気持ちで授業に集中できなかつたり、友達と会つても思いきり楽しめなかつたりする日々が続きました。そのような状況の中、お見舞金をいただき、周囲から支えられていることに改めて気づき、前向きに考えていくことができるようになりまし

た。いただいたお見舞金は決して無駄にせず、生活のため、勉強のために使いたいと考えています。そして、感謝の気持ちを持ち続けてこれからの学校生活を送っていきます。本当にありがとうございます。

初めて気付くなつかしいものに囲まれて生活していることに、普段私たちは意識を向けず生活しています。そういう大事なものを失った時に、後ろばかり振り返って泣いていても、何も始まりません。涙を拭いて前を向いて歩き出す時、多くの人の義援金に支えていただいたことを私は一生忘れることはないでしょう。そして私も、周りに困っている人がいたら、共に泣き、支えられる人間に成りたいと思っています。本当にありがとうございます。

時に大地震が起こり、家の状態を見ると、とても母に大学進学を打ち明けることができなかつた。しかし、支援金をいただいたことは私の大学進学を叶えるためのきっかけになりました。いただいた支援金で、大学で使う教材などが購入できただけでも心の支えになり、とても助かっています。私は、できただけの母の負担を減らすために、家事はもちろん、祖父のお世話などを大学に通いながら頑張っていくつもりです。私の夢を叶えるきっかけをくださった方々に感謝を込めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

いような震度7の強度にみまわれ家屋の倒壊したところもあり甚大な被害が出ております。わが家も全壊となりしばらくはみない仮設での生活となりそうです。とはいえ、幸いにも家族には大きな怪我もなく全員無事で何よりと思っています。

今回の地震では全国の私立中学高等学校の関係の皆様にはご心配いただき感謝の思いでいっぱいです。まだまだ落ち着きませんが一日も早く家の再建と子供が安心して高校生活を送れるように努力していきたいと思っています。

草々

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。敬具

【ルーテル学院高等学校】

1年 女子

熊本地震で家が半壊し、一時は住む所も満足な食事もありませんでした。今から振り返ると、気が張り詰めていたおかげで色々大変なこと

を一つ一つ乗り越えられてきました。被災を受けた人の中には、ダンボールのつい立を盗んでいくような人もいれば、ボランティアで炊き出しをしてくれたり、自分の利害など考えず、被災者の世話をしてくれる人もいました。人間追いつめられた時に本性が見えると言いますが、全くその通りだと思つた一方、どんな逆境でも、まるで神様のよう

に心がきれいなまま変わらない人もいるのだと知りました。

現在は被災生徒支援金のおかげで、未だに片付けていないダンボールもありますが、やっとみなし住宅で落ち着いた生活を取り戻しつつあります。水道から水が出るありがたさ、家族で料理を作つて食べられるありがたさ、夜静かに眠れるありがたさ。普段の生活の中の何気ない一つ一つの中に、本当は感謝しても足りないくらい大事なものがあふれています。無くなつて

母と共に暮らしている私は、できるだけ母に負担をかけたことはありませんでした。そんな

前略 この度、熊本地震に際しましてはご厚情あふれるお見舞、ご援助を賜り、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

この度の熊本地震に際してご厚情あふれるお見舞をいただき厚くお礼申し上げます。今回の地震では家族は皆無事でしたが、家屋半壊で引越

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

新聞やニュースの報道のとおり今まで経験したこともな

崩れ落ち加えて地震直後から

私事ですが、被災し屋根が

しを余儀なくされました。1

階に店舗、2階に自宅と、住む所、働く所を無くしました。が半年が経ちようやく生活が落ち着きはじまりました。少しずつではありますが、娘も学校生活を楽しめるようになり、活共に充実した生活が送れるように見守っていきたくです。

今回の支援金は娘が成長する為に使わせていただき、娘がまつすぐ前を向いて将来の目標に進めるように、地震に負けないように力をつけられるように大事に使わせていただきます。

本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

【熊本信愛女学院高等学校

1年 女子

秋涼爽快の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび当地を襲った熊本地震に際しまして、全国各地から早々に温かいお心遣いや励ましをいただきました

こと、心より感謝いたしております。

今回の地震で、自宅は大きな被害を受け、居住することができなくなりました。また、休校のためクラスの友達にも長い間会うことができず、本当にどうなるかと思つていました。しかし、多くの皆様から励ましをいただいたおかげで元気を取り戻すことができ、今は仮住まいではありますが、家族全員で力を合わせて頑張っているところで

地震から半年が過ぎました。私だけでなくクラスの友人の中にも地震の被害を受けた人が沢山いますが、学校で友人たちと過ごす中で、少しずつ地震が起こる前の日常に戻ってきたような気がします。

これからは家族や友人たちと互いに助け合いながら、勉強や部活動など一生懸命に努力してまいります。

時節柄、ご自愛専一にご精励ください。

【熊本信愛女学院高等学校

2年 女子

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

熊本地震から6カ月が過ぎました。自宅が全壊し、引越した新しい家での生活にようやく慣れはじめました。両親の仕事場も全壊しましたが、解体や基礎工事が始まり、未だ、落ち着いたとは言えませんが、少しずつ先が見えてきました。

このような状況ですが、高校2年生の半ばを迎え、志望する大学への思いが日一日と強まってきました。そこで、支援金の一部をオープンキャンパスへの費用に使わせていただきます。私と志望校は県外の国立大学で、今回の地震もあり、見学は難しいと考えていました。

支援金によって、志望校を見学できることで、私の進学への思いが益々膨らむと思えます。本当にありがとうございます。

残りの支援金も、学業に邁進するため、大切に使用させていただきます。

【開新高等学校 1年 女子

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

この度は心温まるお見舞金をいただき、ありがとうございます。

私達被災生徒にとつてこのお見舞金は、大きな力と助けになりました。熊本地震による被害、影響は想像をはるかに超え、未だ完全な復興には至っていません。しかし、たくさんの方々の協力や支援のおかげで徐々にではありますが私は元の生活に戻りつつあります。

私の将来の目標は、まだはっきりと決まっていないので、これからの高校生活を通じて少しずつでも見つけていきたいと思ひ、日々の学校生活を前向きに過ごしていま

す。まだまだ地震前の熊本の姿に完全に復興できるまでには、多くの時間が必要だと思ひます。次は私たちも一緒に熊本のためにできることを探

【開新高等学校 2年 男子

し、ボランティア活動など積極的に参加したいです。そして今もお助けを必要とされる多くの方々の力になりたいと思ひます。

この度は誠にありがとうございます。

4月の熊本地震で、家は壁が落ち、棚等も倒れ、とても住める状況ではありませんでした。一晩中車中で過ごし、その後は避難所生活が続きま

した。その間も何度も余震が発生し、不安な毎日だったことを今でも覚えています。

現在は、引越しをして落ち着いた生活を取り戻すことができました。支援金を地震で使えなくなった学用品等の買い替えに使わせていただき、充実した毎日を過ごしています。また、学校生活では、勉強と部活動に励み、将来の目標を達成するために日々努力

【開新高等学校 2年 女子

しています。これからも皆様のご支援ご協力を決して忘れず、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。そして、熊本の復興に向けて、私ができることから一歩ずつ取り組んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございます。

このたびは、熊本地震に際し、全国の私立中高の皆様から被災生徒支援金をいただき誠にありがとうございます。

今回の地震で、家は全壊となり住む家もなかなか見つからず途方に暮れていました。周囲の方々から沢山の助けをいただきました。

今までの生活があつた地震によって出来なくなるとは思つていませんでした。当たり前のように生活していましたが、食の大切さ・家の大切さ、また、水・電気・ガスなどのライフラインが生活する上でとても大切だと改めて思い知らされました。

今回の地震で改めて思うこ

とは、地震にも負けない丈夫な家・建物・道路を造っていかなくてはいけないということとです。

私は今、土木科で学んでいます。将来土木関係の仕事に就き、また同じことを繰り返さないような道路や建物造りに尽力し、少しずつでも社会や地域に貢献していきたいと思っています。

また、皆様からのご厚意に感謝し、忘れることなく生きていこうと思います。

【開新高等学校 3年 男子】

私の家は4月14日、16日の地震で家の瓦がほとんど落ちてしまい、壁も崩れ落ちました。16日には雨も降り出し、家の中が水浸しになり、使えるものは何もなくなったのです。

その日から近くの小学校で2週間以上の避難生活が始まりました。避難所には校舎の中、体育館の中と多くの人が集まり、溢れた人たちはグラ

ウンドで車中泊をしていました。全国各地から届く支援物資、有名人の方の炊き出しと人々の支えがどれほど有り難いものか、身をもって経験しました。学校が始まり、友人と再会したときの喜び、安心感は今でも忘れません。日常の生活が始まること、当たり前の生活が始まることに心から感謝しました。

この度は支援金を支給していただき本当にありがとうございます。この支援金のお陰で高校生活を無事に過ごすことができています。この御恩を胸に最後の学年を充実させ、勉学に励み、立派に卒業式を迎えられるよう頑張つていきます。

【開新高等学校 3年 男子】

私たちのために全国の私立中高の皆様からの支援金を贈呈していただきありがとうございます。今回の地震で、家屋が全半壊したり多くの人が途方に暮れました。し

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

かしく多くの人々に助けていただきました。また、県内外からも多くの人にボランティアに来ていただき、電気などの復旧に尽力していただいたり、食料を運んでいただいたりとても助かりました。

今まで、当たり前だった家や食べ物、水の大切さを改めて感じ考えさせられました。また周囲の人の心の温かさを深く感じました。今回いただいた支援金は家の解体金等に使用させていただきました。今からが私たちの新しい一歩です。本当に大変なときに援助をしていただき、ありがとうございます。

【熊本中央高等学校 1年 女子】

この度は貴重な義援金をいただき、ありがとうございます。今回の熊本地震により、自宅は大規模半壊と診断され住み続けることが困難になりました。あれほどの大きな地震を初めて体験し、数日間は家に戻れずこれからのように

して生活していくのかとても心配でした。現在は元の家の近くに家を借りることができ、そこから通学しています。そして被災した自宅は解体し、建て直すことになりました。

私は現在看護学科に在籍し、看護師になるための勉強をしています。今回の地震では病院も大きな被害を受けています。私も新聞やニュースなどで看護師を含む様々な医療関係者の方々が命を救うために一生懸命活動されている様子を見ました。それにより、看護師になり少しでも人の役に立ちたいと改めて思いました。今回の義援金を大切に使用させていただきます。今後、勉強に励みたいと思います。本当にありがとうございます。

【熊本中央高等学校 1年 女子】

4月に起きた大地震は、私がかかった地震だと思えます。今まで経験した中で一番大きかった地震だと思います。今まで小さな地震は時々ありましたが、今回の突き上げる

ような大きな地震は初めてでした。最初の揺れは感じたこともないような大きな揺れで何も考えることができず、避難訓練で学習したことは全くできませんでした。私は揺れが収まるまでずっと動き回っていました。地震の時はまず机の下に隠れるというのを思い出したのは揺れが収まったからでした。本震が来た時は、荷物もまとめており、すぐに安全に避難することができました。

避難先は近くの学校の体育館であり、4日間避難生活をしていました。布団や座布団はあったので、寒さは凌げましたが余震が多く、揺れるたびに眠れずほとんどの人が起きていました。今回は被災した私たちに支援金をいただき、ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

【熊本中央高等学校 2年 女子】

私は東日本大震災をテレビなどで見て、今までに見たこ

どのないような地震の強さであったことや、多くの犠牲者の方がいたことから、自然災害はとても恐ろしいものだと感じていました。しかし、4月14日に熊本で震度6の地震が起きるまでは、実際に自分が体験するなんて思ってもいませんでした。そして2回目

にきた本震で私の家の中は足の踏み場もないくらい物であふれてしまいました。壁も落ちるほどの強い揺れで、あの時テレビで見ていた光景が今、自分自身に起きていることがわからないくらい衝撃的でした。そんな中、インターネットの普及により助かることも多くありました。全国各地からの温かいお言葉や支援物資の一つ一つが私たちの支えとなりました。

今回の被災生徒支援金をいただき、それを学費や検定などの学業に使わせていただきました。全国各地から集めていただいたこの支援金に感謝し、これからも頑張っていこうと思います。そしてたくさん

のボランティアに参加し

て、次は私が誰かのためにできることをしていきたいです。

【熊本中央高等学校 2年 女子】

4月14日、自分の部屋で一人で勉強していた時、突然大きな揺れに襲われました。生まれて初めての経験でも怖かったです。すぐキッチンにある大きな台の下に駆け込みました。しばらく揺れが続く中、全身の震えが止まらず、このまま死ぬのかなとも思いました。家の外に出てみると近所の人が集まっていたので少し安心し、皆が無事で良かったと心から思えました。しかし、地震は収まらず、その日は車中泊をしました。その次の夜、いとこの家に避難し、皆で寝ている時に本震が来ました。2度目の震度7、津波警報。私の家のすぐ近くには海があり、津波が来るから高い所に行かないといけな

いと思ひ、車で山に行くことにしました。しかし大きい道路は車で溢れ返っており、全

く進みませんでした。熊本県は平成11年の台風18号で一度高潮による被害を受けていたので、私は心配でした。友達や家族に電話しても全く繋がらず安否を確認することもうまいかず、家族、友達の大切さを実感しました。

地震のニュースを見ていると、益城を中心に大きな被害を受けていて、これが熊本かと目を疑うほどでした。全国各地からボランティアの方に

来ていただいたり、支拂物資をいただき、本当に助かりました。断水、停電の中どうやって生活したらいいのかもわからず、そんな時、自衛隊の方々の給水でなんとか飲み水を確保でき、本当に助かりました。この地震で普通に生活できることのがたき、家族、友達の大切さ、学校生活がどれだけ大事なのかを知ることができました。学校も3週間休校で学習が進まず不安で

金は本当に助かりました。ありがとうございました。これからも頑張ります。

【熊本中央高等学校 3年 女子】

私は今年4月に発生した熊本地震の影響により、8月上旬まで避難所での生活が続きました。他人との生活、続く余震と慣れない環境に疲れも

とれず、どこにいても休まる状況ではありませんでした。先前的に見えない不安から、また以前のように学校に通えるのか、看護科である私は2週間の病院実習をやり遂げられるのかと不安が募るばかりでした。しかし、学校の先生方が制服や教科書を用意してくださったり、友人から励ましの言葉をもらったり、また支援金の贈呈など、様々な人に様々な面から支えていただき

の力を忘れずに、看護の勉強に力を入れ、看護師としてたくさんの人を救うべく努力していきます。

【慶誠高等学校 1年 女子】

全国の私立中高の皆様より義援金をいただきありがとうございました。

私も母と同じように小さい頃から、気管やのど、肺が弱いです。震災で避難した場所では、ペットがたくさんいる部屋で寝ていたので、アレルギーを発症しました。私たちは地震で健康も奪われました。

パートに引越しました。それでも、母と一緒にいるので笑顔で挨拶をしています。今回いただきましたお見舞

【慶誠高等学校 2年 女子】

金は、大切にに使わせていただきます。これからも勉強や部活で精一杯頑張らせていただきますので、応援よろしくお願ひします。

あの日、当たり前の生活が一瞬にして恐怖の毎日に変わった。夜もなかなか眠れず、車中泊や避難所生活になった。夜中に津波警報が出た時は、震えが止まらなかつた。今までにないことばかりで大変だった。友達にも会えず、学校にも行けない。みんなと連絡を取り合っ

変なのは自分だけではないんだと思った。ボランティアの方々と話す

【慶誠高等学校 2年 女子】

でも、私はこの地震でたくさんの方を学んだ。家族や友達、大切な人がいなくなると、自分も生きていけるのか分らないこと。毎日

震でたくさんの方に支えられ、助けられた。ボランティアをしてくださった方々、そして寄付してくださった方々、ありがとうございます。熊本はまだ大変ですが、助けられた分、これからは私たちが恩返しができるようにしていきたいです。家族を大切にし、そして困っている人など見かけたら自分から進んで手伝い、助けてあげたいと



思います。

4月14日の出来事は一生忘  
れてはいけないこと。熊本は  
これから「がまだして」元の  
熊本に早く戻れるように頑張  
ります。寄付をしてくださっ  
た方々、県外から来てくだ  
さった方々への感謝の気持ち  
を忘れず、私たちはこれから  
それぞれの道で夢に向かって  
頑張ります。

【慶誠高等学校 3年 女子】

私は熊本震災がきっかけで  
家を失いました。家はすぐに  
解体され、私は引越しを余  
儀なくされました。そのとき  
は、いろんな気持ちでいっぱ  
いでしたが、進路についてと  
ても悩んでいました。進路決  
定を目前に控えていて、進学  
をしたいと考えていました

が、震災が起き、経済面でも  
苦しい状況に置かれていたの  
で、進学するのは無理だと  
思っていました。そんなとき  
に、全国の私立中高の皆様か  
らの支援金をいただき、進学

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

することを諦めずに頑張るこ  
とができました。将来、私は  
保育士という職に就きたいと  
思っています。そのために、  
進学して一生懸命勉強に励ん  
でいきます。皆様からの支援  
金は進学する際に活用させて  
いただきます。ありがとうございます。  
夢に向かって頑張っています。

【慶誠高等学校 3年 女子】

私は、熊本地震に遭い、改  
めて、当たり前のことがどれ  
だけ大切なのか、身をもつて  
感じることもあった。  
一度目の前震の時、私は、  
妹と母と車に乗っていた。す  
ぐに家に帰ってみると、テレ  
ビや棚は倒れて、家の中の色  
んな物が散乱していた。この  
時、妹がたまたま車に乗って

いて本当に良かったと思っ  
た。それから、被害の少な  
かった祖母の家に避難した。  
こうなることは予想もしてい  
なかつた。そして、次の日の  
本震。何が起きているのか分

からなくらいに恐かつた。そ  
れからの生活は水道水も濁っ  
てしまい、飲食の為の水を確  
保するのに、スーパーに、一  
時間以上並んだ。家も、もう  
住める状況ではなかつたの  
で、新しい場所に引越すこ  
とになった。この時、何も考  
えずに使っていた水、食べ物  
があること、帰る家、家族  
周りの人の存在が、どれだけ  
大切なのか気づくことが出来  
た。

これからは、この気持ちを  
忘れずに、何事にも、感謝し  
ていこうと思う。そして、こ  
の震災で亡くなった方の分  
まで、一生懸命に生きていき  
たい。

【慶誠高等学校 3年 女子】

私は、今回熊本地震により  
多くのことを経験しました。  
突然の出来事で最初の頃は何  
が起きたのかわからない状況  
でした。自分の家を離れ避難  
先で過ごしている間は、元の  
生活に戻ることはできるのか  
など不安な気持ちが続きまし  
た。しかし、家族や地域の方々

と助け合い、励まし合うこと  
で精神的にも楽になっていっ  
たのを覚えています。  
私の家は地震で大規模半壊  
となり、取り壊しになりました。  
取り壊しの途中の家を見  
に行つたとき、とても寂しく  
涙ができました。見慣れた景色  
が地震の前と後で違うものに  
なっているのを目の当たりに  
し、心が痛かつたです。それ  
からはボランティアの方々の  
支援もたくさんあり、少しず  
つ復旧に向かっていきます。  
今回、支援金をいただき本  
当に感謝の気持ちでいっぱい  
です。まだまだ乗り越えなけ  
ればいけないことが多くあり  
ますが、この支援金を支えに  
頑張っていきたいと思いま  
す。ありがとうございます。

【熊本国府高等学校 1年 男子】

今年4月に私は生まれて  
初めて大地震という辛い経験  
をしました。  
14日の前震は家族と夕食中  
に、16日の本震は就寝中に起  
きました。

母と弟の3人家族である私  
は、長男として家族を守るこ  
とに強い使命感を抱き、恐怖  
で張り裂けそうな思いを抑え  
て3週間もの避難生活を送り  
ました。看護師として働く母  
は仕事も休めず、その分私は  
家族の為にできることを考え  
行動しました。近くのパー  
トに入居できることとなり、  
久々に家族3人で夜を過ごし  
た時は、とてもホツとした気  
持ちになると同時に幸せを感  
じました。私は小学校から  
サッカーを続けており、現在  
は将来に向けて文武両道で頑  
張っております。貴重な4月  
の経験により、人とのつなが  
り、ライフラインの有り難さ、  
何より命あることの素晴らし  
さを改めて感じる事ができ  
ました。

今回の地震でいただいた全  
国のみなさんからの支援、そ  
の他数々の支援をして下さっ  
た方々への感謝を決して忘れ  
ずに、これからの学校生活を  
送っていきたいと思えます。

【熊本国府高等学校 2年 男子】

今回4月に起きた熊本地震  
で被災し学ぶことが多くあり  
ました。  
中でも、家屋調査に来られ  
た県外の方が、時間の無い中  
一人ひとり熱心に話を聞いて  
下さる姿を見て、自分が同じ  
立場に立つた時、果たして同  
じように対応することができ  
るか大変考えさせられまし  
た。私の将来の夢は地方公務  
員になることです。熊本地震  
後は特にこの仕事に就きたい  
と強く思いました。私が地方  
公務員になる夢を叶えること  
ができれば、私自身が生まれ  
育つた熊本を地震前よりさら  
に住みやすく、一人ひとりが  
愛着をもつことのできる町に  
したいと思えます。

【熊本国府高等学校 2年 男子】

そのためには学力向上はも  
ちろん、人間的にも成長する  
ための課題がたくさんありま  
す。それを一つずつ克服して、  
必ず夢を叶えられるように努  
力したいと思います。もちろ  
ん苦しい時もありますが、そ  
れを乗り越えることで夢の実  
現への一歩となると思うの

【熊本国府高等学校 2年 男子】

母と弟の3人家族である私  
は、長男として家族を守るこ  
とに強い使命感を抱き、恐怖  
で張り裂けそうな思いを抑え  
て3週間もの避難生活を送り  
ました。看護師として働く母  
は仕事も休めず、その分私は  
家族の為にできることを考え  
行動しました。近くのパー  
トに入居できることとなり、  
久々に家族3人で夜を過ごし  
た時は、とてもホツとした気  
持ちになると同時に幸せを感  
じました。私は小学校から  
サッカーを続けており、現在  
は将来に向けて文武両道で頑  
張っております。貴重な4月  
の経験により、人とのつなが  
り、ライフラインの有り難さ、  
何より命あることの素晴らし  
さを改めて感じる事ができ  
ました。  
今回の地震でいただいた全  
国のみなさんからの支援、そ  
の他数々の支援をして下さっ  
た方々への感謝を決して忘れ  
ずに、これからの学校生活を  
送っていきたいと思えます。

で、真摯に努力したいと思いをします。

【熊本国府高等学校】

2年 女子

先日は支援金をいただきありがとうございました。ありがとうございます。

私は熊本地震で被災し、たくさんのものを失いました。半年が経った今もまだ南阿蘇村の自宅はあの日のままで

す。本震があった4月16日から1週間ほど孤立状態にありました。近所の方々と支え

合つて生活し、人の温かみや人とのつながりの大切さを改めて感じる事ができました。

私は将来、私の生まれ育つた美しく自然豊かな南阿蘇村に戻り、音楽の先生になりたい

と思っています。私は中学1年生のときから吹奏楽部に

所属しており、私自身が音楽に支えられてきました。

被災後、チャリティーコンサートを行った際の観客の方々の笑顔や涙は忘れられません。今回、音楽の楽しさ、

素晴らしさ、力を実感するとともに、改めてたくさんの子

供たちにもそれらを伝えたいと強く思いました。

現在、家族共に生活できることに感謝しつつ勉学に励んでいます。今後は、自分の夢

に向かって、より一層精進し過ぎていきます。

うことができ、少しずつですが、普段の生活に戻っていく

ことができました。私たちの生活を支えようと支援してく

ださったお金でそのように普段の生活を取り戻すことがで

き、私は人の心の温かさを感

じたり、これから復興に向けて頑張ろうという気持ちが高

まるとともに、次は自分が困っている人や、つらい思い

をしている人を救いたいと思

いました。本当にありがとうございます。

【熊本国府高等学校】 3年 女子

4月16日、マグニチュード7の地震が熊本を襲いま

した。家が崩れ、私達は住む場所がなくなるのと同時に、こ

れからの生活について、非常に不安でした。祖母の家に避

難していました。新しく住む家が見つからず焦る気持ち

は募り、水や食料切れに苦しんでいました。

しかし、さまざまな場所から駆けつけてくださったボランティアの方々や、警察・消防の方々のおかげで、支

援物資が届き、少しずつですが復興への取り組みが始まりま

した。また支援金をいただいたおかげで、すべて割れて使

えなくなつた食器や家具を買

うことができ、少しずつですが、普段の生活に戻っていく

ことができました。私たちの生活を支えようと支援してく

ださったお金でそのように普段の生活を取り戻すことがで

き、私は人の心の温かさを感

じたり、これから復興に向けて頑張ろうという気持ちが高

まるとともに、次は自分が困っている人や、つらい思い

をしている人を救いたいと思

いました。本当にありがとうございます。

【熊本国府高等学校】 3年 女子

この度は、全国の私立中高の皆様より支援金をいただき

ありがとうございます。熊本地震の時、私は初めて

大きな揺れを経験し、死ぬかと思うほどとても怖く、これ

からどうなるのかとても不安でしたが、周りの大勢の方

のおかげでようやく今、自分の生活を取り戻そうとしていま

す。私は、人の役に立つ仕事と

して、救急救命士になろうと考えていますので、いただ

いた支援金はその進学費用やこれから生活に役立てていき

ます。これからもよろしく願

いいたします。

【熊本学園大学付属中学校】 2年 男子

今回の地震では、様々な困難にぶつかりました。そんな

ときに最も助けになったのは、みなさんの支援です。避

難所に届いた食料を見たときは感謝で胸がいっぱいでし

た。そして全国の私立中高の皆様からの支援金も私の普段

の生活を取り戻すのに大変力になってくれました。

【熊本学園大学付属高等学校】 1年 女子

私は益城町に住んでいたの

で、1回目の地震で家に住めなくなつてしまいました。家

族は全員無事でした。2回目の地震の後に近所の人たち

と避難所に行きました。当たり前

の生活が送れないようになってから、今まで普通に生

活ができていたことにありがたみを感じました。被災して

からたくさんの人にお世話になつてとても感謝してい

ます。今はアパートを借りて私と両親と祖母の4人で住

んでいます。アパートでは犬は飼えないので親戚に預けて

います。飼えないので親戚に預けて

ます。家が建つにはあと2年ほどかかりそうです。祖母は

小さい頃から益城町で育つたので、元気なうちに一緒に益

城町に帰りたいです。そして、犬ともまた一緒に暮らしたい

です。いただいたお金は学校生活に役立っています。本

当にありがとうございます。

【熊本学園大学付属高等学校】 2年 男子

人生で一度も体験したこと

のない大地震に2回も見舞われ

ました。思った以上に被害は大きく、今まで当たり前

だったことが当たり前でなくなり生活が長く続きました。

私は自分の家にも住めず、祖母の家で半年間過ごしまし

た。慣れない生活に最初はストレスがたまつたりもしま

した。いつになれば元の生活に戻れるのだろうかと思う日々

が続きました。しかし、悪いことがあつた一方で良いこと

もありました。今回の地震を機に祖父母との距離がと

ても近づきました。祖父母には大変お世話になりました。他に

も、たくさんの方々からの支援のおかげで不自由な生活ができていますのだと思います。今回の見舞金もそうです。県外からの支援物資などにも胸を打たれることが多々ありました。私は、改めて人間の素晴らしさや温かさに気がきました。熊本地震は私たちに大きな被害を与えましたが、しかし、そのおかげで私は成長できた気がします。

【熊本学園大学付属高等学校

2年 女子

今回の熊本地震において全国の私立中高の皆様から義援金をいただき、ありがとうございます。

私の家は、熊本市西区にあり、築百年というとても古い家でした。そのため、この熊本地震を経験したときは、耐震構造の他の家と違い、家がすく揺れたため、本震の時には車中泊をしていました。そんな地震から少し経って私たちの家は半壊という認定を

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

受けました。半壊という認定を受けた後も余震は続き、壁にもひびが増えていったところで、ついに大規模半壊という認定を受けました。

私たちは、いつまた揺れが来るかわからない不安に加えて、家を建て直す費用や、家具代、引っ越し代などの心配も増えました。そんなときに、お見舞金を受け取り、心に余裕が生まれました。本当に感謝しています。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

【熊本学園大学付属高等学校

2年 女子

4月16日、熊本で2度目の地震が起きました。私が住んでいるマンションは、2度目の地震で全壊に近い半壊になり、住めないという意味の赤字が貼られました。赤紙が貼られている間、私は城北小学校に避難していました。3週間を小学校の校舎で過ごしました。もちろん、避難してい

るのは私たち家族だけでなく、高齢者の方も小さい子供もペット連れの方も身体の不自由な方もいらっしゃいました。城北小学校ではボランティアは募集していなかったのですが、「何かせねば、出来ることはないのか」という衝動に駆られ、元気な小学生の子供達と共に配給を手伝ったり、校内の掃除をしたりといったボランティア活動に参加しました。支援金である10万円は私にとつて大金です。支援金をいただいたとき、3週間の避難生活での貴重な体験と、祖父の家で過ごした半年間、我が家の外見の悲惨な状態を思い出し、この支援金は絶対に無駄にはできないと感じました。

【熊本学園大学付属高等学校

3年 男子

今回の熊本地震で、我が家は半壊の被害を受け、柱の歪みと地震後の雨漏りで全く住めない状況になってしまいました。現在はみなし仮設住宅で暮らしていますが、今まで

戸建てでは必要なかった駐車場代や、遠くなった母の職場への交通費、さらには家のローンなど、出費はいや増すばかりです。家の再建もなかなか目処が立ちません。そのような中で、今回のお見舞金は、金銭的な援助になっただけでなく、精神的な面でも見通しの立たない生活に希望が持てたという点で、大きな支援となりました。安心は何よりもよい薬です。私は受験生ですが、やはり経済的な支えのあるなしで、勉強に臨むときの落ち着きも変わってきました。私はこの安心をもって受験に臨み、見事志望校への合格を成し遂げたいと思っています。

【熊本学園大学付属高等学校

3年 女子

この度の熊本地震によって、それまで日常であった色々なことが変わってしまいました。例えば、お風呂やトイレを利用できることや、充

分な食べ物や飲み物があることを「当たり前」と思わなくなりました。今回の地震に対する義援金、心よりお礼申し上げます。

【熊本マリスト学園中学校

3年 女子

今回の熊本地震に対する義援金、心よりお礼申し上げます。

今回の地震では、とても強い揺れが家を襲い私の家は全壊してしまいました。しかし、幸い家族には怪我一つありませんでした。その後、余震も続き不安だったので親戚の家に一時避難し、今では地震前と同じくらい楽しく学校に通うことができています。生まれ育った家はもうありませんが、くよくよせずに家族一丸となってこれからの生活を、前を向いて進んでいこうと思います。

私は今回の地震で色々なものを失いましたが、得たものもたくさんあります。それは人の心の温かさです。見舞金や多くの県から届いた物資は、どれも気持ちが込められたものでした。私はそれらに感謝し、これからの日々を過ごしていきたいと思っています。

今回、多大な見舞金をいただき、本当にありがとうございます。

【熊本マリスト学園高等学校

1年 女子

4月14日、16日熊本を襲った大地震に際しまして、温情溢れる多大な見舞金をいただきまして、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。ございました。

報道で伝えられているとおり、この度の地震ではこの辺り全域が激しい揺れに見舞われました。

幸い家の者に怪我などはありませんでしたが、家の中は割れたガラスで危険な状態でした。また、最初の揺れの後、電気やガスが止まり、余震も続いていて、近くでは火事も起きていました。しかし、何が起こったのかわからない状態のまま親戚の家に10日間ほど身を寄せていました。何とか余震の心配も遠のき我が家に戻ったとき、今にも崩れそうな家の状況に皆が無事であっただけでも幸いだと思えました。

今では、気持ちを切り替えて、早期の復興を目標に皆元気に進んでいこうと決心いたしましたので、ご安心ください。

まずは、ご報告かたがたお見舞いのお礼を申し上げます。時節柄、皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。

**【熊本マリスト学園高等学校 2年 女子】**

この度は熊本地震につきまして、多大な見舞金をいただき、心よりお礼申し上げます。4月14日の地震では、ドン！という下から突き上げるような衝撃とともに激しい揺れを感じました。正直、生きた心地はしませんでした。地震発生直後、母の声を聞いたときは涙が出そうになりました。

私の家は、2度の激しい揺れに耐えたものの、亀裂などがとてもひどく、前震発生後の4週間ほどは車中泊を余儀なくされました。幸いにも私の家は井戸水で、水の心配はありませんでしたが、食料に

関しては近隣のお店は開いておらず、唯一開いていたお店では長い行列をつくるほどでした。しかし、必ずしも食料

が手に入るとは限りません。避難所に行っても支援物資を得ることすらできず、やむを得ず福岡の方まで食料を調達しに行く日々が数日続きました。そこで私は改めて、防災の大切さに気付かされました。

今では余震も減り、一歩ずつではありますが着実に復興に向けて前進しておりますので、ご安心ください。

まずはご報告までにお見舞いのお礼を致した次第です。心より感謝申し上げます。

**【東海大学付属熊本星翔高等学校 1年 男子】**

4月14日、僕はちよどご飯を食べていました。そこに

強い揺れが来て、僕の部屋の中は新しい教科書が散乱し、鏡が割れたり、とても現実とは信じられないくらい荒れてしまいました。まだ電気は通っていたものの、水は断水しており、とにかく家の中に

ある飲み物などをかき集めました。その後、僕らは家の中には居られないので、大きな駐

車場で車中泊をしていたところ、16日の本震に襲われまして。そのときは車内で寝ていて大きな揺れを感じたことを覚えていません。夜明け前から近所の小学校に避難し、その日から1週間、断水と食べる物の無い状況に耐えていました。

この震災で得た教訓があります。それは何事にも焦らず、落ち着いて行動することの大切さです。今は私の近所の店なども復興して少しずつですがもとの生活に戻りつつあります。日常の大事さをしみじみと感じています。

僕はこの熊本地震で大きな被害を受けた益城町に住んでいます。ここでたくさん悲しく、辛い経験をしました。益城町は熊本地震の前震だけでたくさんの方が倒壊しました。僕の家の周辺も倒壊した家が多く出て、そのときは本当に心が苦しくなりました。しかし、近所の人たちや

**【東海大学付属熊本星翔高等学校 1年 男子】**

僕はこの熊本地震で大きな被害を受けた益城町に住んでいます。ここでたくさん悲しく、辛い経験をしました。益城町は熊本地震の前震だけでたくさんの方が倒壊しました。僕の家の周辺も倒壊した家が多く出て、そのときは本当に心が苦しくなりました。しかし、近所の人たちや

ボランティアの人たちが一緒になって頑張っている姿を見て、心がだんだん楽になりました。地震直後は水や食料品なども少なかつたのですが、他県の方々からの支援で、益城町ではみんなにしっかりと食べ物が行き渡るようになり、徐々に活気が出てきました。本当に辛い経験をしましたが、地域やボランティアの方々の協力の大切さがわかりました。

ボランティアの人たちが一緒になって頑張っている姿を見て、心がだんだん楽になりました。地震直後は水や食料品なども少なかつたのですが、他県の方々からの支援で、益城町ではみんなにしっかりと食べ物が行き渡るようになり、徐々に活気が出てきました。本当に辛い経験をしましたが、地域やボランティアの方々の協力の大切さがわかりました。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

4月14日、部活を終えて帰宅し、夕食を食べ終えたときに今まで体験したことのない強い揺れを感じた。その日は消防署の体育館で一夜を過ごした。疲れていたが眠れなかった。翌日から祖母の家で避難していたところ、深夜前よりも更に大きな地震に襲われた。家がきしんで「逃げなきゃ」と思い家を飛び出した。避難所になっていた近所の小学校の体育館に行くことになった。そこに祖父も避難してきた

**【東海大学付属熊本星翔高等学校 2年 女子】**

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

**【東海大学付属熊本星翔高等学校 3年 男子】**

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

た。その後、避難所で35日間を過ごした。不便なことは多かったが、避難所には同級生や、先輩、後輩などの仲間がいた。仲間とともに私はボランティア活動をした。私たちが何かをすることで笑顔になってくれる人がいるだけで、「ありがとう」と言ってくれる人がいるだけで、不安が少しずつ薄れていくのを感じた。以前は普通にできていたことが当たり前のことではないとわかった。今は両親が必至になって探してくれた隣のマンションで暮らしている。徐々に新しい暮らしにも慣れてきたが、やっぱり、一日でも早く仲間がいるもとの町に、もとの家に戻りたい。

本震後も強い余震が続き、自宅の壁が崩れ落ちていくのを目の前で目撃した。自宅にいるのは危険だということで祖母の家に避難したが、余震が続き、それも危ないということでした。しばらくの間、車中泊の日々が続いた。とりあえず自宅の片づけが落ち着いてからは、近所でボランティア活動に参加し、炊き出しの手伝いなどをした。改めてみんなを助け合うことの大切さを感じた。

私の家は自営業を営んでいる。商店街もかなりの被害を受け、近くの大型スーパーマーケットなどは1カ月半営業ができないという状況だった。私の自宅を含め、ようやく復興に向けての工事が始まったが、これらが本当に大変だと思ふ。私はこれから大学進学の手配であるが、助け合いの気持ちを忘れずにこれからも機会があったらボランティア活動を積極的にやっていたいと思う。

【東海大学付属熊本星翔高等学校 3年 女子】  
4月16日、熊本地震の本震が起きました。私は地震が起きたとき、2階の自分の部屋で寝ていました。とつさに蒲団をかぶりましたが、部屋の中がまるで、ふわふわとエレーターが下に降りていくような感覚になったことを今でもはっきりと覚えています。家族はみんな無事でした。それだけが本当に不幸中の幸いでした。私の家は全壊で、もうとても住めるような状態ではありませんでした。近所の家も同じく全壊になっていました。

【文徳高等学校 1年 男子】  
家に全壊の判定が出た後、2度の引越しをしなければなりませんでしたが、最近ようやく落ち着いて生活できるようになりました。本震の日々が戻ってきました。本震後に強い避難所での生活を、私は生忘れれることはありません。避難所には他県からの車が何台も訪れ、玄関近くには支援物資が沢山届いていました。北海道や青森沖縄など遠方の県からも沢山の方々が来てくださり、ありがたい思いで一杯になりました。

【文徳高等学校 2年 男子】  
4月に熊本を襲った2度の大地震によつて私は住む家を失い、約3カ月の避難所生活（避難所敷地内の車中泊）が始まりました。避難所生活初日から約1週間は食べ物・飲み物がほとんどなく、とても辛い生活が続きました。2週間程すると、他県から救援物資が届くようになり、しっかりとした食事がとれるようになりました。その後、車中泊を続けながら、仮設の家を建て、学習机なども入れてやつと勉強に取り組みすることが出来るようになりました。

【文徳高等学校 3年 女子】  
4月16日の本震から半年を迎えました。16日の本震で、私の家は全壊と認定され、転居することになりました。地震からしばらくは祖母の家に世話になり、災害ボランティアに参加しましたが、大勢の熊本の方や県外からの参加者で受付は長蛇の列でした。このボランティアに参加し、将来の夢である公務員になりたいと思う気持ちが大きくなりました。熊本の象徴である熊本城が崩壊し、復旧には膨大な費用と時間が必要で

学しています。父と母と妹は仮設住宅から職場や学校に通っています。この熊本地震を経験して、あたりまえの生活が送れることがどれだけ幸せなことかを痛感し、それから日々、後悔しない一日を送るようになっています。

【文徳高等学校 2年 男子】  
4月に熊本を襲った2度の大地震によつて私は住む家を失い、約3カ月の避難所生活（避難所敷地内の車中泊）が始まりました。避難所生活初日から約1週間は食べ物・飲み物がほとんどなく、とても辛い生活が続きました。2週間程すると、他県から救援物資が届くようになり、しっかりとした食事がとれるようになりました。その後、車中泊を続けながら、仮設の家を建て、学習机なども入れてやつと勉強に取り組みすることが出来るようになりました。

【文徳高等学校 3年 女子】  
4月16日の本震から半年を迎えました。16日の本震で、私の家は全壊と認定され、転居することになりました。地震からしばらくは祖母の家に世話になり、災害ボランティアに参加しましたが、大勢の熊本の方や県外からの参加者で受付は長蛇の列でした。このボランティアに参加し、将来の夢である公務員になりたいと思う気持ちが大きくなりました。熊本の象徴である熊本城が崩壊し、復旧には膨大な費用と時間が必要で

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ

【八代白百合学園高等学校 3年 女子】  
今回は、熊本地震被災者へのお見舞金をいただき、本当にありがとうございました。私は今回の地震で大きな被害を受けた益城町出身です。生まれてからずっと暮らしていた家も地震で全壊してしまいました。

います。  
時間はかかると思いますが、また安心して暮らせる平和な日々が来ると信じて前に進んでいきます。私もどこかで他の人に恩返しできるように頑張ります。本当にありがとうございます。

【八代白百合学園高等学校】

3年 女子

この度は、熊本地震へのお見舞金をいただきありがとうございます。

地震後、私の家は、半壊という状況でした。いただいたお見舞金は、家の修復に使わせていただきました。地震直後は、家の中は何もかもが倒れ土足であがらなければならぬ状況でした。初めて家の状態を見たときは、もう一度ここで住めるのか、という不安でいっぱいでした。しかし、親戚の方にも手伝っていただいたり、近所の方々に手助けしていただき、何とか自分の家で暮らすことが出来るようになりました。たくさんの方々との助け合い、触れ合

いの中で絆が深まり、少しずつ前を向くことが出来ています。私は、今までたくさんの方々から助けていただき、心の支えとなっていたきました。これからは、私が人の心の支えとなり、復興に向けて頑張っていきたいと思えます。

【秀岳館高等学校】

2年 男子

この度は、見舞金をいただきありがとうございます。

2回あった地震のうち、1回目の前震のときは秀岳館高校が取れずに、不安でたまらなかつたです。次の日は、家に帰り片付けの手伝いをしていました。その時はまだ家の中も少し物が倒れたり壊れたりしているだけで、そこまで被害もひどくはありませんでした。油断していた訳ではなく、まさか2日続けて震度7以上の地震が来るとは思っておりません。本震のとき、僕は家で過ごせるスペースがなかったため、後輩の家

に泊まらせてもらっていました。夜中に急な衝撃に襲われるがまま外にでました。家の外には、たくさんの方がおり、怪我をしている人や泣きわめく子どもたち、状況が理解できずに慌てる人がたくさんいました。普通ではない異常な光景でした。自分も慌ててい

【秀岳館高等学校】

2年 女子

この度は、ご支援いただきありがとうございます。

4月16日、熊本は突然の大きな地震で、甚大な被害を受けました。私は当時、両親と買い物に出ていました。突然の激しい揺れでその場にいた全員がとっさに身をかがめましました。その時のことは忘れることができません。棚の商品が雪崩のように落ちる様子、周りの人たちの動揺する姿、揺れが収まった直後の妙な静けさ。その全てが未だに記憶に残っています。

できない生活が続いています。そのため、今回のような見舞金をいただきとてもうれしかったです。家族に少しでも楽ができるようにしてあげたかったので、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

【秀岳館高等学校】

2年 女子

この度は、ご支援いただきありがとうございます。

私の家は基礎が沈み、瓦も一部落ちかけ、次に大きな地震が来れば非常に危険な状態でした。毎日毎日余震が続

き、眠れない日々でした。私は、毎日、車中泊をして過ごしました。4月でしたが、夜は冷え込み、車内に毛布を持ち込んで寝ていました。

【秀岳館高等学校】

2年 女子

そんな話を聞き、東日本大地震の時はもつと大変だったのだと思いました。大変だと思っ

でも情けなく考え、今の私に何かできることはないかと思いい、学校のボランティア団の一員として、宇城市クリーンセンターへ行きました。向かう途中では多くの家が半壊のままとなっており、そんな家々を見て、とても胸が痛くなりました。

それまでにどれだけの時間が先日、全国の私立中高の皆様からの支援金をいただきました。思いがけないことで、私も両親も驚きましたが、皆様のお心配りをありがたくお受けしたいと思えます。その分私自身も学業に専念し、社会に貢献できるような人材になりたいと思います。

【秀岳館高等学校】

2年 女子

秀岳館高校の生徒を代表して感謝の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございます。

今回のこの熊本地震では、私の自宅もですが、周囲の建物などもとても大きな被害を受けました。また、二次災害の土砂崩れなどでたくさんの方が亡くなり、現在も大変な生活を送られている方が沢山いらっしゃいます。東日本震災では津波が猛

威を振りましたが、今回は余震の多きと二次災害で多くの被害が出ました。毎日続く地震に私は恐怖を感じるばかりでした。「熊本に地震は来ない」という何の根拠もない思い込みが私の中にあつたからだと思います。今回のような多くの被害を出さないように、この地震を教訓に今後の為に準備はしておこうと思ひました。

この地震で私の家もいろいろな所にヒビが入り、崩れました。家族で力を合わせ、早くもとの生活に戻れるよう、また熊本県全体の復興に向けて、頑張っていきたいと思ひます。

このたびは、日本私立中学高等学校連合会様を通じて全国の私立中高の皆様から温かい義援金をいただきまして、家族みんなで感謝しています。本当にありがとうございます。これからも困難を乗り越えてがんばっていこうと思ひます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

このたびは支援金をいただき、本当にありがとうございます。今回の地震で、今まで住んでいた家に住むことができなくなり、それから、度重なる余震に不安を覚えながら、車中泊をしていました。普段、私が当たり前に何気なく行っていることができなくなることの辛さ、そしてできていたことのありがたさを改めて感じ、辛い経験であつたものの、今は、そのことに感謝するという大切な思いを得ることができたと思えるようになりました。

4月に大きな地震が起きました。私が住む家も半壊し、住む家がなくなつてしまいました。地震から半年が経ち、今は家族で引越しをしてアパートで生活をしています。4、5月は不安でいっぱいでした。しかし、今はこの生活にも慣れ、高校にも登校できています。支援金や励ましの言葉をいただき、家族も私も多くの方の優しさや温かさを感じています。本当にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

この度は誠にありがとうございます。この度は誠にありがとうございます。

**平成28年熊本地震被災私立中高生徒等メッセージ**

慣れない体育館での避難生活

【城北高等学校 1年 女子】

【城北高等学校 1年 女子】

私は、看護師という夢に向かい、今、城北高校の看護科

【有明高等学校 1年 男子】

私は、今回の熊本地震で生まれて初めて感じたほどの怖

熊本地震により家は全壊に

【城北高等学校 1年 女子】

【城北高等学校 1年 女子】

私は、看護師という夢に向かい、今、城北高校の看護科

【専修大学玉名高等学校 3年 男子】

この度は、熊本地震に対するお見舞金をいただきまし

川町の自宅が全壊となり、1週間地元の小中学校体育館に避難し、その後、八代の祖父母宅で3カ月半過ごしました。

【城北高等学校 1年 女子】

【城北高等学校 1年 女子】

私は、看護師という夢に向かい、今、城北高校の看護科

【専修大学玉名高等学校 保護者】

この度は、誠にありがとうございます。4月14、16日の地震で、小

今回の地震で自宅は半壊という被害を受け、学校が始まつても車中泊を続け大変な思いをしました。しかし、この地震で、普段の生活がどれだけ幸せなことなのかを知ることができました。

【城北高等学校 1年 男子】

【城北高等学校 1年 女子】

私は、看護師という夢に向かい、今、城北高校の看護科

<p>で学んでいます。同じ夢を持つ仲間と出会い、希望に満ち溢れていた私たちを地震が襲いました。揺れで、家の中は足の踏み場もないほど物が散乱し、真新しい制服や教科書、ノートなどどこにあるのかわからない状態でした。何とか学校で必要なものを探し出し、しばらく親戚の家に避難をし、そこから通学することになりました。すべてをマインナスに考えてしまっていた私を支えてくれたのが、友達や学校の先生方でした。そして、どんな困難にも明るく前向きに頑張っている両親、温かく見守ってくださる地域の方からいつもやる気をもたらしています。</p>	<p>5年間、しっかりと勉学に励み、看護師国家試験に合格し、人の役に立ち笑顔溢れる看護師になり社会に貢献します。</p>	<p>先日、阿蘇山が噴火し、危険な状態が続いています。このような悲劇が続いて私が思ったことは、世の中にはコントロールできるものではないものがあるということです。それは、自然環境です。自然はコントロールすることはできません。今回の地震や台風などもそうです。過去にあったことを教訓にして未来を切り開くことで、少しでも未来の自然災害による被害をコントロールできるよう、私たちはそれらを考えて実現していかなくはならないと思います。本当にありがとうございます。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 私の自宅は熊本市内にあります。1年前に私たち姉妹のために購入したマンションは、今回の地震により全壊してしまい、漏水により、大切な思い出の品も取り出すことができず処分しなければなりませんでした。私は、住む家になくなったと知ったときは悲しくてたまりませんでしたし</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 3カ月が過ぎたころ、別々に避難していた家族は仮設住宅で生活できるようになり、今では落ち着きを取り戻しつつあります。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 今回は、私たちのために支援金を贈呈下さりありがとうございます。お陰様で勇気づけられました。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 この度は支援金をいただきました。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 この度は支援金をいただきました。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 この度は支援金をいただきました。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 この度は支援金をいただきました。</p>	<p>【城北高等学校 2年 女子】 この度は支援金をいただきました。</p>	<p>【城北高等学校 3年 男子】 このたびは、支援金をいただきありがとうございます。多くのの方が被災されている中、このように対応していただいたことに深く感謝しています。</p>
<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>
<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>
<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>
<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>
<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>	<p>【城北高等学校 2年 男子】 私の家は半壊し、近くの道路には大きなひびが入っているところもあります。さらに、</p>



\*文中の誤字・脱字・一部表現等に関しましては、勝手ながら訂正させていただきます。